

## ○ 地域懇談会・行政連絡会議の実施状況について

地域懇談会及び行政連絡会議の実施状況と予定について報告しました。

### ・地域懇談会の動き

オープンハウスや市民意見交換会で収集した市民の意見・要望を整理して、河川整備上の課題を抽出した意見主旨集「コレカラボイスその1 課題編」をとりまとめました。集まった意見主旨をフィードバックする機会として、5月に流域内の24箇所で開催する予定で、どんな意見が出されているのか、それら意見への追加や補足など、市民の皆様に確認をして頂くこととしています。

### ・行政連絡会議の動き

2月4日に多治見市で20市町が集まり、土岐川庄内川コレカラプロジェクトの進捗状況報告と情報交換を行い、雨水流出抑制など各自治体での取り組みや河川整備に係る地域の事情などをアンケート等により集約して、河川整備上の課題を取りまとめることになりました。

これらの動きを受けて、流域委員会での議論して頂いた河川整備上の課題と合わせて、市民や自治体としての河川整備上の課題をまとめて、節目としてのレポートをこの夏にも河川管理者が公表することにします。

## ○ 小里川ダムについて

小里川ダムが3月20日に竣工式を迎え、平成16年度より運用を開始することについて報告しました。

## ○ 新川の整備計画検討状況について

愛知県の新川整備計画の検討状況について報告しました。

### 辻本委員長

・庄内川と新川では川のつくり方が異なるので、その辺りを整理し、どういう観点で議論しなければならないかについて問題を抽出し、説明していただきたいと思います。

## 次回の予定について

自然環境WG及び第6回流域委員会を以下の予定で開催することになりました。

・自然環境WG：平成16年5～6月頃開催予定

・第6回流域委員会：平成16年7～8月頃開催予定

第6回流域委員会では「現状と課題の取りまとめ」を議題とする予定です。

## 編集後記

今回の委員会では、河川整備計画を策定する上での前提条件となる土岐川、庄内川の現状と課題について各委員から活発な意見が出され、予定された時間の大半がこれに費やされた。地域懇談会、行政連絡会議での住民及び自治体の意見も合わせて、様々な課題が抽出されたが、これらに如何に対応するか、いよいよ本題の議論を始める段階に至ったようである。

(副委員長 松尾 直規)



土岐川庄内川  
流域委員会通信

VOL.4

監修/土岐川庄内川流域委員会  
発行/土岐川庄内川流域委員会事務局  
国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所  
462-0052 名古屋市北区福徳町5-52 TEL 052-914-6711  
フリーダイヤル 0120-4071-41

ホームページ ● <http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/>  
メールアドレス ● [shonai@cbr.mlit.go.jp](mailto:shonai@cbr.mlit.go.jp)

# 土岐川庄内川 流域委員会通信



土岐川庄内川  
コレカラ  
プロジェクト

VOL.4

発行日：平成16年5月11日

土岐川庄内川流域委員会の議事内容と、関連情報をお知らせしていきます。

## 第5回 土岐川庄内川流域委員会が開催されました

開催日時

平成16年3月5日(金) 14:00～17:30

会場

名古屋通信会館 4Fユニオンホール

## ◇第5回土岐川庄内川流域委員会審議内容

### ○ 流域委員会の運営について

流域委員会の運営について、次のことが確認されました。

- ・流域委員会にワーキンググループ(WG)を設けること。(規約改正)
- ・自然環境WGを設け自然環境全般について議論をします。
- ・自然環境WGは委員の一部を自然環境に係る学識者・有識者で構成し、流域委員会のなかで参加を希望する委員は辻本委員長に申し込みます。

### ○ 現状と課題について

現状と課題を説明し、次の意見を頂きました。



辻本委員長

・抽出された課題に対して整備計画原案を考えていく時、河川管理としてどういう克服手段があり、そのうちどこまでできるか、という点が今後の議論になると思います。今日はそのプロセスの途中段階であり、説明された課題に抜け落ちや先生方の意見が十分取り込まれているか等をできるだけ委員の皆様にチェックしていただきたいと思っています。



原岡委員

・治水の課題で「河道貯留効果も考慮した河川整備」という文言がありますが、これは河積の足りないところの拡幅等を意味しているのかどうかについて補足説明いただきたいと思っています。

### 事務局

・現在の庄内川の河道は蛇が卵を飲んだような形で、広がったり狭くなったりしています。現在、広がっている部分で、一定の河道内の貯留効果もあるのかなと思います。このことも十分に考慮したうえで河川整備を検討していく必要があると考え、上げさせていただきました。